

株主、投資家のみなさまへ

第16期 中間報告書

2012年1月1日～2012年6月30日



株式
会社 **アウトソーシング!**



目 次

- 1 株主、投資家のみなさまへ
- 3 連結業績ハイライト
- 4 連結決算のご報告
- 5 事業セグメント別動向
- 7 クローズアップ/トピックス
- 9 会社概要
- 10 グループネットワーク
- 裏表紙 株主メモ

東京証券取引所市場第二部

証券コード：2427



Message from the CEO

株主、投資家のみなさまへ

代表取締役会長兼社長

土井 春彦

株主のみなさまには、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

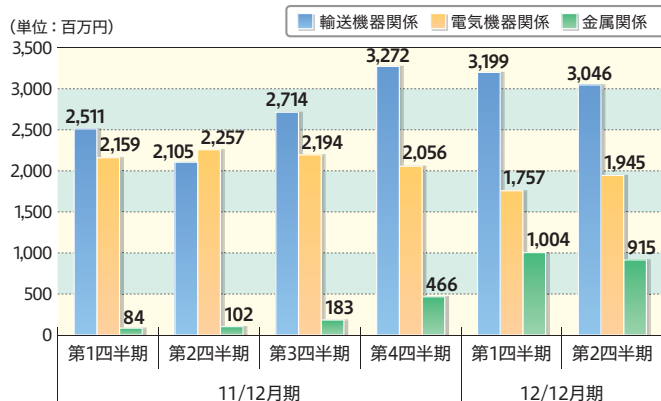
ここに、第16期第2四半期累計期間(2012年1月1日から2012年6月30日まで;以下、当中間期)の決算のご報告を申し上げるとともに、現在の取組み、今後の事業展開についてご説明いたします。

当社グループを取り巻く市場環境

昨年の東日本大震災から、早1年3か月が経過いたしました。被災地域における復旧や原発事故の後処理、放射能汚染の対応など、重要課題の処理が大きく遅れ、多くの方々が、平穏な日常生活に戻れないままの状況が続いております。

また、昨年に端を発した欧州の財務・金融危機や歴史的な円

業種別売上高推移 (抜粋)



経営理念

変革する経済環境に対して英知と創意工夫を結集し、
生産の効率向上に寄与することにより、
ものづくり日本の発展と
明るく豊かな社会の実現に貢献します。

高、さらに韓国や中国、台湾をはじめとする新興国のメーカーの台頭などにより、当社グループの主要顧客である国内メーカーを取り巻く事業環境は、非常に厳しい状況が続いております。

しかしながら、このような逆風下にあっても、当社グループは当中間期において連結業績を堅調に伸長させることができました。

主力の生産アウトソーシング事業におきましては、販売が好調な輸送用機器分野が業績を力強く牽引しました。当社グループでは、輸送用機器メーカーの増産計画に対し、製造請負はもちろんのこと、メーカーが直接雇用する期間工の採用から寮を中心とした労務管理までをワンストップで受託管理するなど、同業他社にはできない総合的な業務提案をすることで、競争優位に受注を獲得することができました。その結果、業種別売上高において、輸送用機器関係が前年同期比35.3%増となりました。

また、連結子会社である株式会社ORJが今年1月、国内建材メーカー最大手の株式会社LIXIL (リクシル) との間に締結した管理業務受託契約を契機に、建材関係(当社セグメントでは金属関係)の受注が拡大傾向にあり、同事業における当中間期の売上高は、前年同期比8倍強となりました。国内の復興需要はむろん、新興国における建設需要の拡大も見込まれ、グローバルな視点から、今後さらなる受注拡大が期待される分野です。

一方で、メーカー間におけるグローバル競争の勝敗が業種ごとに一層明確になってきており、当中間期は、半導体関連を中心に電気機器関係で想定以上に不況色が強まり、売上高は前年同期比16.1%減となりました。

ただし、これはあまり知られていないことではありますが、不況業種のメーカーによるアウトソーシングの活用や、グローバル競争で負けたメーカーが事業再編時にアウトソーシング化を進めるといったニーズが高まっているため、好調、不調の垣根なく、幅広いメーカーからの受注が積み上がっており、これまでにない変化となっています。

多様化・高度化するメーカーニーズに対する取組み

国内メーカーは、激化するグローバル競争に勝ち残るため、新興国市場でのシェア獲得に向けて生産管理体制のグローバル化を加速しています。

グローバルに人材ビジネスを展開するには、各国でのライセンス取得が必須となりますが、特に新興諸国の場合、外国資本の業者に規制があり、ライセンスの取得が非常に困難な状況にあります。当社グループでは、昨年、アジア7カ国でライセンスを持ったホワイトカラー系の人材ビジネス会社を買収、このライセンスを活用してブルーカラー系の人材ビジネスに進出し、急速な事業拡大を図っております。

また、今年3月には、日系メーカーが生産アウトソーシング業者の進出を強く望んでいるベトナムにおいて合併会社を設立し、日系の製造系業者として初の人材ライセンスを取得いたしました。今後とも、グローバル化に向けての本格的な取組みを加速し、アジア新興国においてグローバル対応が可能な生産アウトソーシング業者としての地位を築き、同業他社に対する優位性をさらに強固なものにしていきたいと考えております。

このような成長戦略の一環として、今年3月、当社は、東京証券取引所市場第二部に株式を上場いたしました。

さらに7月には、グループ会社の集約、業務の効率化を目的として、本社を静岡から東京に移転いたしました。

さらに7月には、グループ会社の集約、業務の効率化を目的として、本社を静岡から東京に移転いたしました。



▲グローバル化に向けたグループ拠点構築

2011-14年度 中期経営ビジョン

Vision 2014: **Vector to the TOP**
～業界No.1に向けての軌道～

顧客に選ばれる業者 **No.1**、

求職者に選ばれる業者 **No.1** を経て、

生産アウトソーシング業界 **No.1** になる！

当中間期の業績概要

以上の結果、連結売上高につきましては、前年同期比37.2%増の20,408百万円と、過去最高を更新いたしました。

東京証券取引所市場第二部への上場ならびに移転関連の一過性費用が発生したため、売上高に比べ、利益成長の度合いが鈍り、営業利益、経常利益は、前年同期比20.1%増の249百万円、同10.0%増の309百万円となりましたが、期初予想を上回り、実質的には過去最高水準を達成いたしました。当期純利益につきましては、下半期に予定していたグループ会社の再編を前倒しで実施したため、上半期に見込んでいなかった税効果の減少が発生しましたが、これは下半期の予想に織り込まれているため、通期予想に与える影響はございません。

当社グループは、中期経営計画Vision 2014の最終年度である2014年度において、売上高1,000億円以上、営業利益80億円以上の達成を目指し、事業拡大に邁進してまいります。株主のみなさまにおかれましては、変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



◀ クレセントのピース
出演の当社CM
編車編より
携帯

連結業績ハイライト

Consolidated Business Results

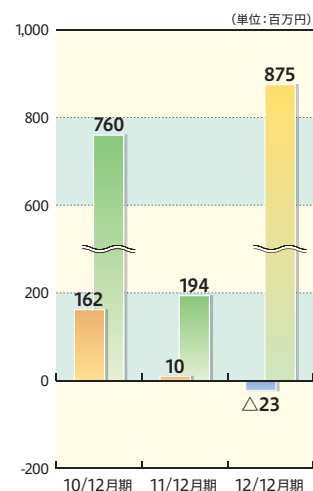
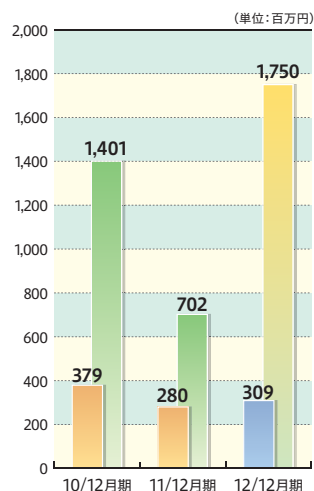
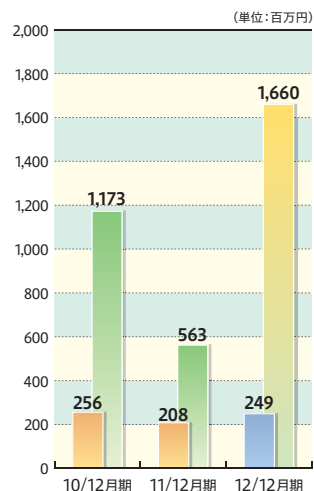
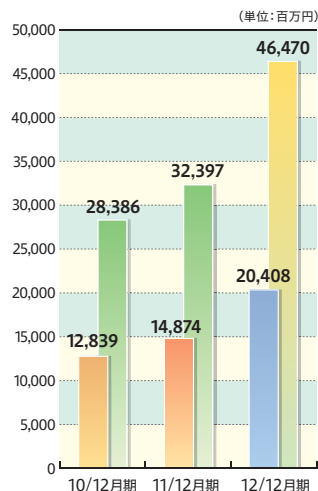
■ 中間期 ■ 通期 ■ 中間期 ■ 通期 (予想)

売上高 20,408百万円

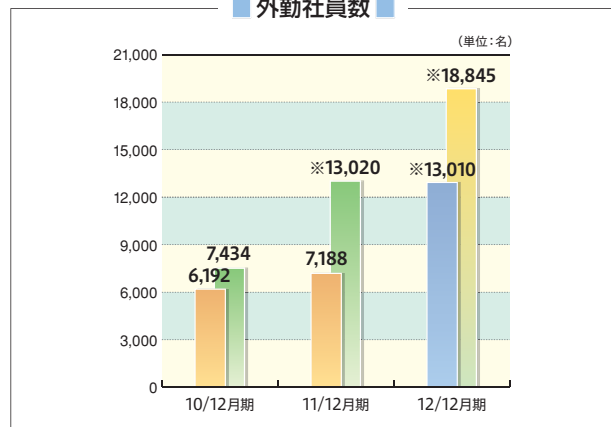
営業利益 249百万円

経常利益 309百万円

四半期純利益 △23百万円

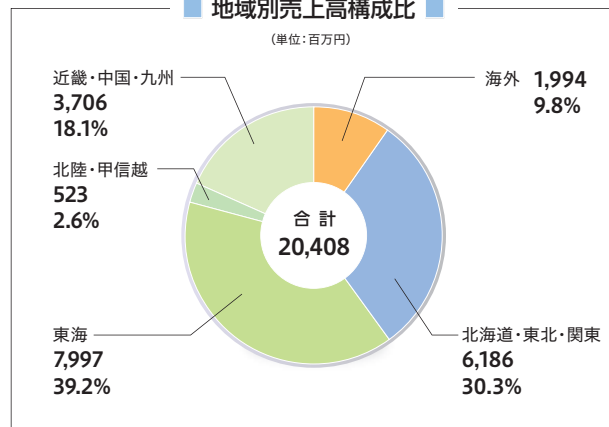


■ 外勤社員数



※持分法適用会社であるPT.SELNAJAYA PRIMA (Indonesia) の人数を含む

■ 地域別売上高構成比



連結決算のご報告

Financial Statements

中間連結貸借対照表 (要約)

(単位：千円)

科 目	前中間期 2011年6月30日現在	当中間期 2012年6月30日現在
1 資産の部		
流動資産	6,809,122	9,340,068
固定資産	3,654,097	4,184,997
有形固定資産	2,015,852	2,097,163
無形固定資産	657,690	907,214
投資その他の資産	980,554	1,180,620
繰延資産	2,593	1,982
資産合計	10,465,812	13,527,049
2 負債の部		
流動負債	5,377,482	7,129,036
固定負債	1,658,890	2,815,332
負債合計	7,036,372	9,944,368
2 純資産の部		
株主資本	3,251,371	3,335,037
資本金	485,202	485,443
資本剰余金	881,373	881,614
利益剰余金	2,275,890	2,359,073
自己株式	△391,094	△391,094
その他の包括利益累計額	2,603	21,127
その他有価証券評価差額金	4,200	352
為替換算調整勘定	△1,596	20,775
新株予約権	73,897	108,709
少数株主持分	101,567	117,806
純資産合計	3,429,440	3,582,680
負債純資産合計	10,465,812	13,527,049

中間連結損益計算書 (要約)

(単位：千円)

科 目	前中間期 自2011年1月 1 日 至2011年6月30日	当中間期 自2012年1月 1 日 至2012年6月30日
売上高	14,874,595	20,408,116
売上原価	11,844,990	16,371,052
売上総利益	3,029,605	4,037,064
販売費及び一般管理費	2,821,470	3,787,160
営業利益	208,134	249,903
営業外収益	255,836	338,551
営業外費用	182,978	279,248
経常利益	280,992	309,206
特別利益	4,962	16,507
特別損失	79,086	115,366
税金等調整前四半期純利益	206,868	210,347
法人税、住民税及び事業税	263,761	186,852
法人税等調整額	△69,578	55,119
少数株主利益又は損失 (△)	2,064	△8,016
四半期純利益又は四半期純損失	10,621	△23,607

3 中間連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)

(単位：千円)

科 目	前中間期 自2011年1月 1 日 至2011年6月30日	当中間期 自2012年1月 1 日 至2012年6月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	84,286	561,729
投資活動によるキャッシュ・フロー	252,577	△445,023
財務活動によるキャッシュ・フロー	△367,419	729,306
現金及び現金同等物の期首残高	1,713,488	2,166,060
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,682,001	3,021,958

中間期 1株当たり指標 (円)

2011年度

2012年度

四半期純利益 (EPS)

0.73

△1.63

純資産額 (BPS)

225.55

232.57

決算のポイント

1 資産の状況

当中間期末における総資産は、前年同期末比3,061百万円増加しました。これは主に、事業規模拡大および子会社の取得に伴う現預金、売上債権などの流動資産の増加、子会社の取得によるのれんを中心とした無形固定資産の増加等によるものです。

2 負債・純資産の状況

当中間期末における負債合計は、前年同期末比2,908百万円増加しました。これは主に、外勤社員数の増加に伴う未払金の増加 (1,086百万円) と借入金の増加等によるものです。純資産につきましては、利益剰余金等の増加により前年同期末比153百万円増の3,582百万円となりました。

決算のポイント

3 キャッシュ・フローの状況

当中間期におけるフリー・キャッシュ・フロー (営業キャッシュ・フローと投資キャッシュ・フローの合計) は、前年同期比220百万円減の116百万円となりました。これは主に、未払法人税等の支払額が減少したものの、子会社株式の取得や敷金、保証金の差入による支出が増加したこと等によるものです。

事業セグメント別動向

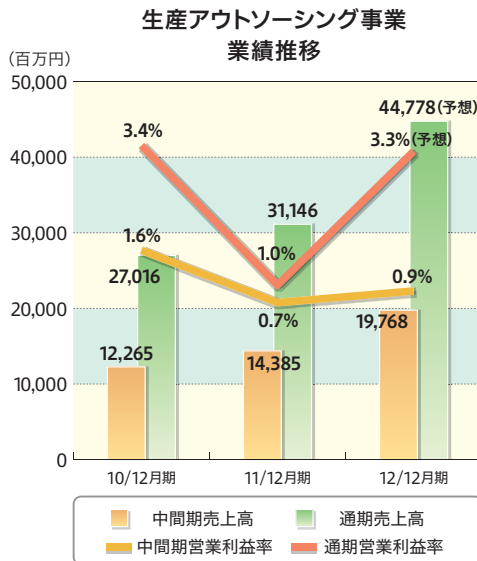
Business Trends

生産アウトソーシング事業

主力事業である当事業は、メーカーの製造工程の外注化に対応するサービスや、メーカーの設計・開発・実験・評価工程での高度な技術・ノウハウを提供するサービスを業務請負または人材派遣にて提供しております。

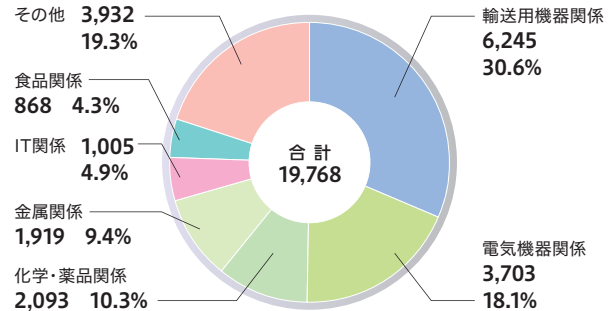
当中間期は、主要顧客である国内メーカーの生産は、勝ち組業種と負け組業種との格差が明確化してきました。そうしたなか、輸送機器分野は、昨年より強気な生産計画を立てておりましたが、エコカー補助金復活の追い風もあり、また事業の裾野も広いことから、生産市場を牽引して全体では堅調な推移となりました。

こうした動きを背景として、国内事業については、当社グループにおいても、輸送用機器関係（売上高6,230百万円、前年同期



生産アウトソーシング事業 業種別売上高構成比

(単位：百万円)



比34.9%増)と住器建材を中心とした金属関連（売上高1,917百万円、前年同期比928.9%増）が好調で、全体でも前年同期比23.6%増の17,775百万円の売上高となりました。

海外事業については、昨年11月にアジア6カ国でライセンスを保有し、ホワイトカラー系の人材サービスを中心に営業展開する株式会社OSインターナショナルを子会社化しましたが、このライセンスをブルーカラー系に転用することにより、新興国でのシェア拡大を展望する国内メーカーのニーズに応える体制を構築しました。ホワイトカラー系からブルーカラー系までの、グローバル一括受注体制により、人材サービスの海外シェア獲得が実現しています。

以上の結果、売上高は前年同期比37.4%増の19,768百万円、営業利益は前年同期比70.8%増の170百万円となりました。

管理業務アウトソーシング事業

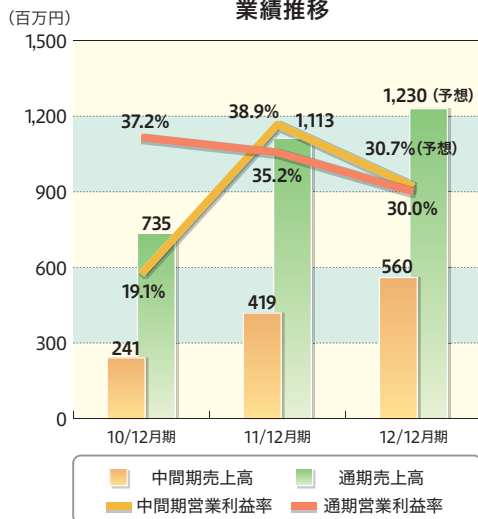
管理業務アウトソーシング事業では、連結子会社である株式会社ORJを中心に、メーカーの期間社員採用代行業務から採用後の労務管理や社宅管理等にいたる管理業務を一括受託す

るサービスを提供しております。

当中間期は、タイ洪水による国内での代替生産特需は終息し、輸送機器業界において大手メーカー各社の欧州向け自動車輸出減少等の影響から、採用代行事業の受注数は減少しました。しかし、営業体制を活用したソリューション提案活動により、新たなメーカーとの口座数を増加させることができました。

メーカーは、従来の単純派遣から製造派遣活用による生産現場の直接雇用による期間社員への切り替え、または業者集約による請負化のどちらかを選択することが予想されますが、請負化に関しては当社グループは、これまでの実績から評価されており、またメーカーによる期間社員への切り替えに対しては、株式会社ORJによる管理業務受託事業を中心とした独自の一括受託サービスの提供により、受託獲得の優位性が可能となっており、シェア拡大を展望しています。

管理業務アウトソーシング事業
業績推移



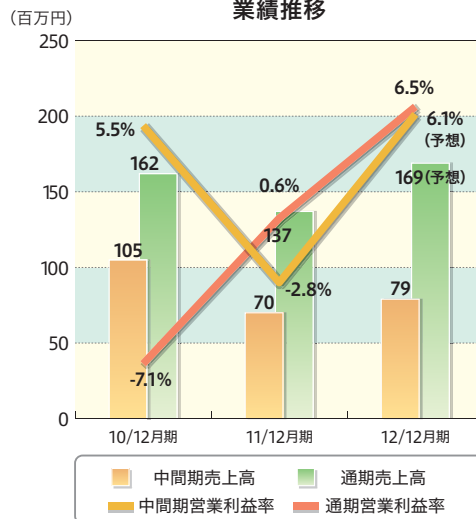
以上の結果、売上高は前年同期比33.6%増の560百万円、営業利益は前年同期比3.0%増の168百万円となりました。

その他の事業

その他の事業では、連結子会社である株式会社アネブルがレースを中心とした自動車用高性能部品等の開発製造販売を行っています。

当中間期は、国内大手自動車メーカーの高級ブランドにおけるオプションパーツとして採用されているショックアブソーバーの受注が拡大した結果、売上高は前年同期比12.9%増の79百万円、営業利益は前年同期2百万円の損失から、4百万円の利益となりました。

その他の事業
業績推移



Vision 2014: **Vector to the TOP** ～業界No.1に向けての軌道～

前期よりスタートした中期経営ビジョン「Vision2014」。業界No.1を目指し、グループが一丸となって、新たな事業基盤の構築を推進しています。本項では、現在進行している主な施策をクローズアップいたします。

■ アジアにおける人材ネットワークが始動

当中間期における海外企業グループの期末外勤社員数(※)は、4,659名から5,116名と、457名の増員となりました。昨年11月にM&Aにより取得したOSインターナショナルグループの寄与が今期より通期で始まるため、業績についても、前期海外売上高が386百万円であったものが、当中間期には、1,994百万円に拡大しました。

進行中の具体的な案件として、タイのアユタヤ県にあるロジャナ工業団地において、日系大手メーカーを中心に1,700名の増員を受注しております。



※持分法適用会社であるPT. SELNAJAYA PRIMA (Indonesia) の人数を含む

また、今年3月、日系の製造系業者として初めてのライセンス取得となったベトナムでは、既に複数の引き合いをいただいております。このため、外勤社員の獲得を積極化し、今期末までに800名の増員を目指しています。

さらに、外資系企業に対する規制のために市場開拓が遅れていた中国においても、これまでITソフトウェアのオフショア開発の受託事業を行っていたグループ会社の奥拓索幸（上海）企業管理服務有限公司を通じ、新たなスキームを通じた展開が始まりました。

このスキームは、日系大手メーカーが中国の学校から実習生を受け入れるための学校開拓や、その後のフォローといったコンサルティングを行うものであり、中国学生と中国日系企業の架け橋の役割を担ってまいります。

また、同時期に工場の設備管理の請負事業にも進出しております。

■ 国内事業基盤の再編に着手

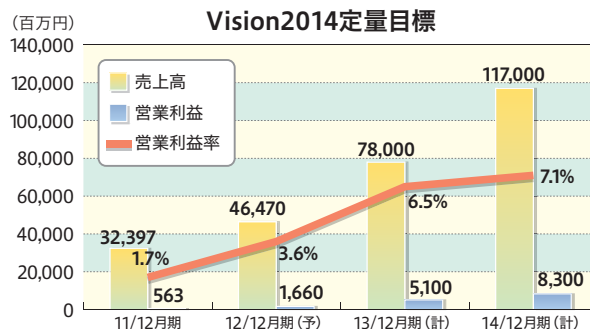
過去数年の積極的なM&A活動を通じ、アウトソーシンググループは、国内企業グループ13社、海外企業グループ19社の組織体となりました（2012年6月末現在、持分法適用会社を含む）。7月をもって、本社を東京に移転しましたが、同時に国内グループ会社を本社ビルに集約し、管理面での効率化に着手しました。

管理面での効率化に加え、現在取り組んでいるのが、生産アウトソーシング事業の機能面での効率化です。Vision2014の期間中に、生産アウトソーシング業務の領域別に国内グループ会社を集約し、国内事業基盤をスリム化・効率化してまいります。

国内事業基盤再編の方向性

領域	集約先	対象業種・分野
量産	(株)アウトソーシング	全般
受託	選定中	IT・通信
	選定中	医薬・化学
	(株)アネブル	輸送機器
技術者派遣	(株)アウトソーシングテクノロジー	全般

今後とも、スピード感のある積極的な事業展開を進め、Vision2014の達成を目指してまいります。



トピックス

Topics

当社企画のテレビ番組「はたらくヨロコビ」を放映中!!

現在、当社では、昨今の若者を中心に「ものづくり」への興味が薄まり、製造業離れが進んでいることを危惧しております。

当社では、多くの人々に「ものづくり」の面白さ、感動、そしてそこで働くヨロコビを伝えることで、「ものづくり」への興味を引き出し、優秀な人材の確保へと結び付けてまいります。

その一環として、毎週土曜日午後9時54分より、静岡だいいちテレビにて、当社企画番組「はたらくヨロコビ」の放映を開始いたしました。

番組では、毎回、工場で働く人々をナビゲーターが訪問し、「自分たちの周りにある工場で何を作っているのか?」という興味や、「日頃自分たちが身近に接しているものを作っているんだ!」という驚きや発見、そしてそこで働く社員のものづくりのヨロコビを伝えてまいります。

ナビゲーターにはお笑い芸人の「Hi-Hi」(ケイダッシュステージ所属)を起用し、視聴者目線で工場を取材し、時にはお笑いの要素もエッセンスに加えながら、番組を進行してまいります。

放映につきましては、現在放映しております静岡エリアに限らず、今後随時、他エリアへも展開してまいります。



▲Hi-Hiプロフィール

左) 上田 浩二郎 (うへだ こうじろう)
1973年11月9日生まれ
趣味は楽器、作詞、作曲、料理、パチンコ

右) 岩崎一則 (いわさき かずのり)
1973年9月17日生まれ
趣味はパチンコ、漫画喫茶研究、ゲーム全般

会社概要 (2012年6月30日現在)

Corporate Data

会社情報

商 号：株式会社アウトソーシング
 設 立：1997年1月
 社員数(グループ)：13,992名(持分法適用会社を含む)
 主な事業内容：生産アウトソーシング事業
 管理業務アウトソーシング事業
 加 盟 団 体：日本経済団体連合会
 ホームページ：http://www.outsourcing.co.jp/

役 員

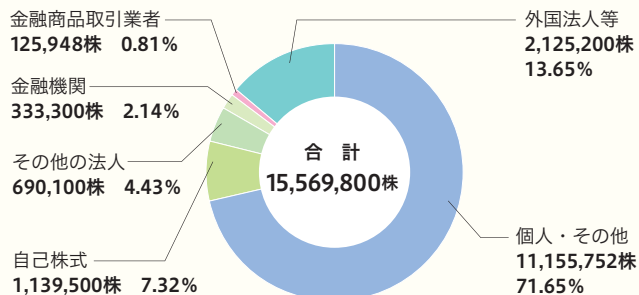
代表取締役会長兼社長	土井 春彦
取 締 役 副 社 長	鈴木 一彦
専 務 取 締 役	三好 孝秀
常 務 取 締 役	岩倉 章
取 締 役	植松 政臣
常 勤 監 査 役 (社 外)	大高 洋
監 査 役 (社 外)	浅羽 忠克
監 査 役 (社 外)	池島 幸治

株式データ

株式の状況

発行可能株式総数	32,000,000株
発行済株式の総数	15,569,800株
株主数	4,405名

所有者別株式分布状況



大株主

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
土井春彦	3,747,700	24.07
道林昌彦	1,500,000	9.63
ザバンク オブ ニューヨーク メロン アズ エージェント ビーエヌワイエム エイエス イーエイ ダッチ ペンション オムニバス140016	604,800	3.88
ジェービー モルガン チェース バンク380084	460,600	2.96
バンク オブ ニューヨーク ジーシーエム クライアント アカウンツ ジーピー アールイーシー アイティーアイシー	347,200	2.23
土井千春	310,000	1.99
佐野美樹	300,000	1.93
道林尚輝	300,000	1.93
道林侑輝	300,000	1.93
株式会社アイ・コーポレーション	300,000	1.93

(注) 上記のほか当社所有の自己株式1,139,500株があります。

グループネットワーク (2012年6月30日現在)

Group Network

アウトソーシンググループ

国内企業グループ 13社
海外企業グループ 19社

■ 国内企業グループ

● 当社 ● 連結子会社

このほか、営業所37カ所、採用センター19カ所を全国に展開しております。

株式会社アネブル

株式会社ORJ

株式会社アールピーエム
株式会社トライアングル
株式会社アストロン

株式会社アウトソーシング
OSセミテック株式会社
株式会社アウトソーシング
テクノロジー
株式会社アウトソーシング・
システム・コンサルティング
アスカ・クリエイション
株式会社
エルゼクス株式会社

株式会社
大生エンジニアリング

REVSONIC-ES株式会社

■ 海外企業グループ



● アジア・オセアニア

● 中国

● 株式会社OSインターナショナル
● 奥拓索幸 (上海) 企業管理服務有限公司
● FARO RECRUITMENT(CHINA) CO.,LTD.
● Faro Business Consulting (Dalian) Co.,Ltd.
● FARO RECRUITMENT(HONG KONG) CO.,LIMITED

● タイ

● OS (THAILAND) CO.,LTD.
● OS Recruitment (Thailand) Co.,Ltd.
● J.A.R. Services Co.,Ltd.
● A-LINK RECRUITMENT COMPANY LIMITED ※
● WIDE SPREAD INTERTRADE RECRUITMENT COMPANY LIMITED ※
● BKK-LINK COMPANY LIMITED ※

● インドネシア

● PT.OS ENGINEERING & CONSULTANT INDONESIA
● PT.OS SERVICE INDONESIA
● PT.SELNAJAYA PRIMA ※

● ベトナム

● OS VIETNAM CO.,LTD.
● OS POWER VIETNAM CO.,LTD. ※
● Faith Root Recruitment Vietnam Joint Stock company

● シンガポール

● FARO RECRUITMENT (SINGAPORE)PTE.LTD.

● オーストラリア

● STAFF SOLUTIONS AUSTRALIA PTY LTD

※持分法適用会社

株主メモ

■ 証 券 コ ー ド	2427
■ 上 場 取 引 所	東京証券取引所市場第二部
■ 社 名	株式会社アウトソーシング
■ 事 業 年 度	1月1日から12月31日まで
■ 定 時 株 主 総 会	3月中
■ 期末配当金受領株主確定日	12月31日
■ 中間配当金受領株主確定日	6月30日

■ 株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711（フリーダイヤル）
■ 公 告 方 法	電子公告により当社ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。 http://kmasterplus.pronexus.co.jp/main/corp/2/4/2427/index.html

ご注意

1. 株主様の住所変更その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次いたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、
アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝（図書カード500円）を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media（イー・ツー・メディア）の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。（株式会社 a2media についての詳細 <http://www.a2media.co.jp>）
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ 「e-株主リサーチ事務局」 TEL:03-5777-3900（平日 10:00～17:30）MAIL: info@e-kabunushi.com

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 2427

いいかぶ

検索



空メールにより
URL自動返信

kabu@wjim.jpへ空メールを送信してください。（タイトル、本文は無記入）
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からも
アクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話を
お使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



株式会社 **アウトソーシング!**

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-3 丸の内トラストタワー本館5階

TEL. 03-3286-4888 www.outsourcing.co.jp

